美術作品の鑑賞等の

アウトリーチ事業

2019 年度のご案内

公益財団法人たましん地域文化財団

1. 事業主旨

弊財団では、2018 年度より多摩地域の小・中学校との協働によりアウトリーチ事業に取り組みはじめました。これは、美術館学芸員が学校に直接出向いて、児童、生徒たちに美術鑑賞の楽しさや面白さを体験してもらうことを目的とする、美術館としての教育普及事業を行うものです。

使用する題材に多摩の作家の作品を用いており、これら作品に身近にふれることで郷土愛を育む機会としても、大きな意義のあることと考えています。

初回は、学校の教室内でワークシートを用いながら、学芸員との対話を交え作品鑑賞しましたが、事業内容については実施希望校からの要望や担当学芸員との相談を重ねた上で行います。

平成 31 年度は、たましんコレクションより絵画、彫刻、工芸作品 30 点をたのしむ展覧会「美術のぼうけん★」【会期：7 月 20 日(土)から 9 月 15 日(日)】での展示作品となる絵画、彫刻、工芸作品約 30 点の中から題材を求める予定です。本展覧会もご覧いただき、参考としていただければ幸いです。

2. 事業概要※昨年度の例です

学　　校：国立市立国立第八小学校

回　　数：合計　4回　※3・4年生　各2クラス

日　　時：1回目…2018 年 11 月 29 日(木)　5 時間目（13：15～14：00（45 分））

2回目…2018 年 11 月 29 日(木)　6 時間目（14：05～14：50（45 分））

3回目…2019 年　1月 30 日(木)　5 時間目（13：15～14：00（45 分））

4回目…2019 年　1月 30 日(木)　6 時間目（14：05～14：50（45 分））

会　　場：　3年生・4年生の各教室

内　　容：玉虫良次「路地裏」の絵画作品（実寸大の印刷）の対話による作品鑑賞を、ワークシートを用いて行う。

①1 人で鑑賞する→②友達のみかた（鑑賞）をきく→③まとめ(発表)→④作品や作家について説明→⑤感想(発表)

3. ねらい・達成目標

- 相手の意見（見方）を共有し、自分の意見（見方）をまとめ、多様な見方をたのしむ。
- 作品に描かれているものから想像する楽しさを学ぶ。
- 多摩地区の作家の作品を鑑賞することにより、郷土作品と身近にふれる機会とする。
- 所蔵品に親しんでもらうことにより、たましん歴史・美術館やたましんギャラリーの活動を伝える。

4．スケジュール（事前打ち合わせから当日、後日ふりかえりまで）

9月　子ども対象のコレクション展「おばけ美術館」の見学及び財団にて打合せ　※鑑賞作品及び内容の検討

10月　学校にて打合せ　※会場の確認及び当日の流れ、ワークシートの確認。

11月　開催2週間前　ワークシートをデータで事前に学校へ送付。

当日①回目　※3 年生対象

12月　事後2週間後　ふりかえりと次回の課題を打合せ

1月　開催2週間前　ワークシートをデータで事前に学校へ送付。

当日②回目　※4 年生対象

2月　事後2～3週間後　全体のふりかえり

国立市立第八小学校3年生の授業風景

５．内容（詳細）

	詳細時間	子どもたちの活動	流れ・注意点など	教室内･席について
導入（3 分）	5 時間目（13：15～13：18）、6 時間目（14：05～14：08）	●内容の確認をする。	流れの説明、ワークシートの用意。★人の意見を聞き、自分の意見をまとめる「作品鑑賞」を行うことを説明する。	基本の状態※前向き
展開 1（7 分）	5 時間目（13：18～13：25）、6 時間目（14：08～14：15）	個人で作品を鑑賞する。●ワークシートに記入する。	玉虫良次「路地裏」を個人で鑑賞する。☆ワークシートに気になったところを書き込む。	基本の状態※前向き
展開 2（15 分）	5 時間目（13：25～13：40）、6 時間目（14：15～14：30）	グループで作品を鑑賞する。●記入したワークシートをもとに、グループで意見を出し合う。※３年生は自分の意見を相手に伝え、相手の意見を聞くレベルでディスカッションはむずかしい。●全体で共有する。	玉虫良次「路地裏」をグループで鑑賞する。☆気になったところをグループ内で話し合う。グループ内で話しあった内容を全体でも確認する。	班活動の状態※向かい合わせ
展開 3（5 分）	5 時間目（13：40～13：45）、6 時間目（14：30～14：35）	作品についての説明をきく。●ワークシートにメモを取る。	作品への作家の思い、描こうとしたこと。☆作者や作品について、ワークシートにメモをとる。	基本の状態※前向き
展開 4（10 分）	5 時間目（13：45～13：55）、6 時間目（14：35～14：45）	個人で作品を鑑賞する。●ワークシートをまとめる。	最初の印象、他の生徒の意見、作家の作品への思いを聞き、まとめる。☆ワークシートに感想をかく。（ポイント：最初の印象から他者の見方をきいたり、作品や作者についての説明をきいて、どのように見方が広がったか。）	基本の状態※前向き
まとめ（5 分）	5 時間目（13：55～14：00）、6 時間目（14：45～14：50）	２～３人が発表する。●発表に耳をかたむける。	児童の様子をよくみておく。☆ワークシートを早くまとめた児童と、時間をかけてまとめた児童を各 1～2 人を目安とする。	基本の状態※前向き

６．学校でご準備いただくもの

ワークシートの印刷、マグネット8個、テレビ、投影機の準備など

※ワークシート(データ)、絵画作品の原寸大への特大サイズコピー、模造紙(流れを書いたもの)、参考作品等はご相談を重ねながら、弊財団で準備いたします。

７．子どもたちの声

・ 今日は久しぶりにおばけ美じゅつ館の絵をみた。ちょっとこわかったけど、また、ちょっとおもしろかったです。（３年生）
・ 大きい絵をみて、すごかった。（３年生）
・ 美術館に（本物の）絵を見に行きたいという気持ちになりました。（４年生）
・ こうゆう授業ははじめてだったので、たのしかった。（４年生）
・ 他の友だちの意見を聞くと、意外とこの絵はこわいと思った。美術館に行ってみたい。（４年生）
・ 絵からふしぎだなと思うことを 10 個見つけることができました。（４年生）

８．先生方の声

・ 普段、鑑賞の授業は友だちの作品をみることが中心なので、プロの作家の作品を鑑賞させたいという思いがありました。
・ 普段の授業ではあまり集中できない児童が、最初はワークシートへなかなか取り組むことがむずかしい様子でしたが、絵の説明になると興味をもって聞いている様子でした。
・ 八王子市在住なので、児童よりも自分が夢中になって作品を鑑賞しました。八王子市内の小中学校の児童や生徒がどのようにこの作品を鑑賞するか気になります。

９．鑑賞した作品

玉虫良次《路地裏》1988 年　キャンバス、油彩
100 号(130．0×162．0 ㎝　※はがき1枚が1号のサイズ)

【お問合せ先】　★アウトリーチ事業へのご要望やご相談お待ちしております！★★★★★

公益財団法人たましん地域文化財団　美術資料室　担当:杉本　藍
〒186-8686　国立市中1－9－52　　電話:042-574-1360（火～金　午前 10 時～午後5時）
FAX:042-577－5070　／　URL:http://www.tamashin.or.jp/index.html